

4年間の流れ 2025年度(予定) 変更になる場合があります

卒業に必要な単位:124単位

専門教育科目:72単位  
 全学共通科目:30単位  
 広域選択:22単位

■必修:30単位  
 ■選択必修:12単位  
 ■選択:30単位

	1年次	2年次	3年次	4年次	
<b>成長のプロセス</b>	図書館の使い方やレポートの作成方法、歴史学の方法論や外国史の概要など、外国史学専攻で学んでいく基礎を修得する。	幅広く多様な知識に加え、東洋史・西洋史の学問としての歴史や研究法、史資料の扱い方の基礎を修得する。	研究の最先端を深く学ぶとともに、自らの力で史資料を調査し読解して、自らの言葉でその成果をレポートする。	専任教員のサポートのもと、研究テーマを設定して関連する史資料を徹底的に分析し、卒業論文を作成する。	
<b>東洋史コース</b>	<b>必修</b>	●外国史学基礎演習 ①			
	<b>選択必修</b>	●東洋史概説 ●西洋史概説	●東洋史学研究法	●東洋史学演習I	●東洋史学演習II ●卒業論文
<b>西洋史コース</b>	<b>必修</b>	●外国史学基礎演習 ①			
	<b>選択必修</b>	●日本史概説	●日本考古学概説	●外国考古学概説	●史学概論
<b>選択</b>		●外国史学文献史料講読I~XVIII ②	この中から2科目を選択します。		
		●記録史料学I(古代・中世) ●記録史料学II(近代) ●記録史料学III(近代) ●記録史料学IV(近現代)	●外国史各説I~XIV ●東洋史特講I~V(A/B) ●西洋史特講I~III(A/B) ●西洋史特講IVA ●日本史史料講読I~IV ●日本古代史 ●日本中世史 ●日本近世史 ●日本近代史	●日本古代史特講I-II(A/B) ●日本中世史特講I-II(A/B) ●日本近世史特講I-II(A/B) ●日本近代史特講I(A/B) ●考古学各説I~IV(A/B) ●考古学特講I~X(A/B) ●考古学史	●日本仏教史 ●日本文化史 ●西洋文化史I-II ●有職故実 ●日本民俗学 ●歴史地理学A/B ●地誌学 ●哲学史
		●日本史学史I-II	●古文書研究I-II		
			●史料調査実習		

① 外国史学基礎演習

資料の宝庫である図書館見学にはじまり、文献の探し方、レポートの書き方、インターネットの活用、発表方法などを学びます。歴史学における基礎的な学習能力を身につけます。

② 外国史学文献史料講読

歴史研究に欠かせないのが文献・史料の解読です。この授業では英語や漢文など外国語で記された文献を中心に、関連史料も取り上げ、文献の読み方を修得します。

③ ラテン語

ラテン語は、古典ギリシャ語とともにヨーロッパ文化の基礎を形成する要素です。本講義では主に基礎文法を取り上げ、平易なラテン文を理解できるよう展開していきます。

卒業論文テーマ・研究課題例

- 諸葛亮の北伐について
- 明初の対外政策
- 巨石神殿から見る古代マルタ人の宗教観
- ウィーン体制下の外交
- 則天武后期の政治と宗教
- 太平天国期における諸反乱
- 裁判史料にみるジャンヌ・ダルクの信仰
- 国防軍将校から見た独ソ戦
- モンゴル帝国における千戸制とケシケン
- 木棺の変遷にみる古代エジプト文化の伝播過程
- フランス革命期の女性の人権
- アメリカ黒人が求めたものとは何か

私の

1 Week Schedule [2年次]

	Mon.	Tue.	Wed.	Thu.	Fri.	Sat.
前期	1	生命と環境	外国史各説I	スペイン語IIBa	考古学各説IV	
	2	外国史学文献史料講読III				
	3	スペイン語IIAa	考古学史	汚染問題を考える	古文書研究I	東洋史学研究法
	4			東洋史特講I	仏教美術史	記録史料学III(近代)
	5					東洋史特講III
	6					
後期	Mon.	Tue.	Wed.	Thu.	Fri.	Sat.
	1		外国史各説II	スペイン語IIBb	考古学各説IV	
	2	外国史学文献史料講読III				
	3	スペイン語IIAb	考古学史		古文書研究I	東洋史学研究法
	4		哲学(2)	東洋史特講I	仏教美術史	
	5					東洋史特講III
6						

履修のポイント

「東洋史特講」を通じ日本の文学界における中国史に関する研究や、異なる学会間の研究の相違点、自分が興味を持った内容の先行研究などの情報を知りました。その上でレジュメを作成し、発表することで、自分が持つ認識に対して、問題点や改善点を明らかにすることができ、卒論テーマの決定には不可欠な授業です。また、漢文史料を読むことが基礎となるので漢文の勉強も疎かにしないようにしました。

学びから得たこと

中国史研究の基礎を修得し、参考文献の収集調査や史料内容についての理解だけでなく、その合理的判断についての理解も深めました。また、論争点が多い歴史事件に対する見解について、一面だけではなく、より総合的な分析能力を身につけました。

Message

東洋史の知識と理解を深めるため、大学院進学を決意。

中学の時に曹操という人物に興味を持ち、中国人以外の視点から歴史を勉強したいと思いました。日本にいる叔母に頼んで曹操に関する日本語の本を探してもらい、石井仁先生の『魏の武帝―曹操』と出会いました。曹操に対する新たな認識を得て、中国での悪の代表という偏見に満ちた今までのイメージから離れ、客観性を持って中国の歴史に多面的な貢献をしたことが確認できました。高校卒業後、石井先生の東洋史の講義を受けたいと思い本専攻に入学しました。将来は、東洋史を教える大学講師になりたいと考えています。これまで勉強した東洋史の理解を深めるために、大学院へ進学して博士号を取得し、様々な研究会に入会して専門知識を教える能力を身につけたいです。そのために、今は色々な大学で開かれる講演会に参加し、最新情報や限定情報を把握できるようにしています。また、こうした機会を利用して、様々な領域の東洋史学者との交流を図っています。

李 志勇さん  
 歴史学科 外国史学専攻 4年  
 中国 山東省 出身

